

行政視察報告

視察日時	令和 5 年 11 月 1 日	10 時～11 時 30 分
視察場所	岡山県倉敷市	
視察項目	防災・減災について	
視 察 者	常任委員会委員 7 名 事務局職員 1 名	
視察概要	<p>平成 30 年 7 月豪雨災害で明らかになった 5 つの課題</p> <p>①災害対策本部の体制 防災部局の人員不足の解消、情報の一元化と共有、情報の一元管理・見える化をする。</p> <p>②住民の避難行動 地域全体に防災・減災の意識が根付いた社会の構築、災害が起きても、誰一人取り残さない、災害の経験を将来に活かす。</p> <p>③避難所・避難場所 災害時に避難所に指定していなかった場所に被災者が集中した実情があった</p> <p>④物資の受援体制 フォークリフトの自重 1 トン以上に加えて荷物重量（パレットの多段積み（3 トン）に耐えられる床と倉庫が必要。世話人も必要である。</p> <p>⑤被災者の生活再建支援 システムへ最新データのセットアップを継続して、罹災証明書発行からワンストップサービス（総合受付窓口）までの実運用訓練をして、被害者生活再建支援の取組をしている。</p> <p>○防災教育 保育園・幼稚園における防災教育：多様な災害を想定した避難訓練の実施 小中学校における防災教育：マイ・タイムライン検討ツール「逃げキッド」の活用 高校生、大学生、家庭におけるハザードマップ等の活用</p>	
本市に生かせる視点	大きな災害を受けた地域の視察は、大変参考になった。特に、災害対策本部の体制作りや被害者生活再建支援の取組は参考にできる。	